

平成29年度

厚生労働省在宅医療関連講師人材養成事業 訪問看護分野

日時:平成29年12月9日(土) 9:00~16:30

場所:大手町ファーストスクエアカンファレンス

主催:一般社団法人 全国訪問看護事業協会

司会:高砂 裕子常務理事

平成29年度訪問看護講師人材養成研修会プログラム

部	所要時間	講義名	到達目標	講師		概要	
				所属	内容		
開会	9:00~9:20	20 総論1 開会の辞・本研修の趣旨説明 地域包括ケアシステムと訪問看護	地域包括ケアシステムにおける訪問看護の現状を理解できる。	厚生労働省医政局地域医療計画課在宅医療推進室 室長 松岡 輝昌氏	・本研修会の位置づけと役割 ・在宅医療・訪問看護の基礎的なデータ		
	9:20~9:40	20 総論2 在宅医療・介護における行政と訪問看護の連携の実際	在宅医療・介護における行政の役割を知り、行政と訪問看護との連携の必要性を理解する。地域における訪問看護の量的・質的確保に関する課題や解決策について行政と連携する必要性を理解できる。地域における最新状況や情報の収集方法、窓口等を知ることができる。	滋賀県健康医療福祉部医療福祉推進課 岡野 和薫(かずゆき)氏	・在宅医療・介護における行政の役割 ・地域における訪問看護の量的・質的確保に関する課題整理と解決について行政と訪問看護が連携する必要性 ・行政と訪問看護の連携の実際 ・在宅医療・介護のために地域で行っている会議の種類及び役割 ・地域における最新状況や情報の収集方法、窓口等 ・地域における訪問看護、在宅医療に係る事業(地域医療介護総合確保基金等)		
	9:40~10:10	30 総論3 訪問看護の対象者の理解	高齢者、小児、精神科など、訪問看護の対象者について理解し、地域における研修会の企画に活用することができる	日本看護協会 沼田 美幸氏	・地域包括ケアシステムにおける訪問看護の対象 ・医療的ケア児を含む小児の対象について ・精神科疾患のある訪問看護の対象について ・地域において研修会を開催する時のポイント ・制度、社会保障、連携先などの違いについて		
	10:10~10:40	30 総論4 学習支援と教育	人材育成とは何か、教育対象の理解を深める方法を学び、自地域における訪問看護の人材育成に役立てることができる	日本赤十字看護大学 西田 朋子氏	・人材の育成とは何か、人を教育することの基本的な考え方 ・教えるということの考え方について ・成人学習者に対する動機づけ ・能力の開発とGIQ.SBO(組織目標、個人目標)について		
10:40~10:55	15	休憩					
ロールプレイ	10:55~12:10	75 各論1 [テーマ]訪問看護の価値を伝える	訪問看護の価値を他者に伝えることができる	聖路加国際大学看護教育 佐藤 直子氏	訪問看護の価値や魅力について気づきのロールプレイ ・訪問看護のメリット ・訪問看護ではどのようなことをするのか ・訪問看護が保障するもの ・事例を用いて言語化できるようにする		
	60 昼食(机移動)						
講義	13:10~13:30	20 各論2 平成28年度受講者活動報告	平成28年度訪問看護ハイレベル人材養成研修会からの学びを活かした研修会開催の実践報告から、自地域においての研修会開催に役立てることができる。	テイク・ケア訪問看護ステーション 森谷 和代氏	・平成28年度訪問看護ハイレベル人材養成研修会からの学び ・研修会の準備から開催までの実際について		
GW	13:30~13:40	10 各論3 グループワークの進め方	効果的にグループワークを進行することができる	聖路加国際大学大学院看護学研究所 山田 雅子氏	[進め方] ①課題の抽出・共有 ②どの課題に取り組むか ③研修会の目標及び目的の設定 ④対象者を決める(受講対象者は、訪問看護師、訪問看護を目指す看護師) ⑤具体的な内容 ⑥講師の選定 ⑦自分が講師となったらどのような資料を準備するか 【発表方法】 (発表者) ①プログラムの紹介 ②プログラム作成の根拠(聴衆) ①グランドルールの遵守		
	13:40~15:10	90 各論3 [テーマ]自地域における訪問看護師の量的拡大及び質の向上のための研修プログラムの開発	《グループワーク》 地域における訪問看護師の量的拡大および質の向上の課題と今後の方策について「入門プログラム」を参考にして自地域に合ったプログラムや資料を実際に作成することができる	聖路加国際大学大学院看護学研究所 山田 雅子氏	・事前課題から抽出した自地域における課題を共有し課題解決の方策を考える ・抽出した地域における訪問看護師の量的拡大や質の向上の課題と今後の方策について「訪問看護入門プログラム」を参考にして自地域に合ったプログラムや資料を実際に作成する ・何を見せ、何を売り込めばよいのかロールプレイからの気付きや午前の講義の内容から考察する ・作成したプログラムをどのような場で活用できるかも検討する。		
発表及びフィードバック	15:10~16:10	60 各論3 《発表》 ・作成したプログラムや資料の特徴やセールスポイントについて根拠と共に発表する ・作成したプログラムの効果的な活用場について提案する 《フィードバック》 ・自地域の研修企画の参考にすることができる ・他者の意見に対して建設的な意見を述べる ・質問は意図をもって行う	《発表》 ・作成したプログラムや資料の特徴やセールスポイントについて根拠と共に発表する ・作成したプログラムの効果的な活用場について提案する 《フィードバック》 ・自地域の研修企画の参考にすることができる ・他者の意見に対して建設的な意見を述べる ・プログラム作成の根拠を理解する ・質問は意図をもって行う	聖路加国際大学大学院看護学研究所 山田 雅子氏	《発表》 ・作成したプログラムの紹介 ・プログラム作成に当たったの根拠 《フィードバック》 ・自地域の研修企画の参考にすることができる ・他者の意見に対して建設的な意見を述べる ・プログラム作成の根拠を理解する ・質問は意図をもって行う		
閉会	16:10~16:20	10 閉会の辞		上野 桂子氏	閉会の辞 アンケート記入		